

6

「それぞれの立場で考えよう ～家庭・地域・学校での男女共同参画～」(女性の人権)

実践する場面

①対象者 行政職員、教職員、PTA 会員 (小・中・高校生をもつ保護者)、
各種社会教育関係団体員、企業関係者等

②所要時間 90 分

活動のねらい (ポイント)

- ①一人ひとりの考え方の違いに気づき、認め合う気持ちをもつ。
- ②年齢・立場・職業等様々な市民が、それぞれの立場で話し合うことによって、家庭・地域・学校で男女共同参画を推進していく上での課題や取り組むべき方向について考える。

準備するもの

4つのコーナーの掲示物、ワークシート (A4判の用紙を人数分、A3判に拡大したものをグループ分)、ふりかえりシート

進め方 (展開例)

時間	学習の流れ (活動・内容)	留意事項	備考 (資料等)
導入 20分	<p>◆学習の確認 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会のねらい ・日程 ・参加体験型学習における約束 <p>◆アイスブレーキング (15分)</p> <p>「4つのコーナー」</p> <p>①問題を聞く。</p> <p>[問題例]</p> <p>第1問「夏が好きだ」 第2問「〇〇市の男女共同参画は進んできた」</p> <p>②「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、自分に一番あてはまるコーナーに行く。</p> <p>③それぞれ集まった場所でファシリテーターに指名された人は、そこを選んだ理由を発表する。</p> <p>④「4つのコーナー」を行ってみての感想を発表する。(数名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [参加体験型学習の約束] の内容を伝える。 ⇒ P.5 の 4- (5) ・ できるだけ机等のないスペースで行う。 ・ 「4つのコーナー」の掲示物を部屋の四隅等に掲示しておく。 ・ あまり考えすぎないで移動してもらう。 ・ なぜそこを選んだのか理由を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「4つのコーナー」の掲示物 ⇒ P.44
<p>様々な考え方があることやどれもまちがっていないことに気づく。</p>			
	<p>◆アクティビティ (60分)</p> <p>「わたしはできる？」</p> <p>①個人でワークシート (A4判) に自分 はできるかできないかで○をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な立場の参加者がいっしょになるように6人グループをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート (A4判) ⇒ P.45

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料等）
展開 65分	<p>②グループで話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をする。 ・司会・記録者を決める。 ・ワークシート（A3判）にそれぞれの結果を記入する。 ・話し合いをする。 <p>③グループで出た意見を全体に発表し、共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを確認したり、自分とは違う立場の人の考えや実態を知ったりすることがねらいであることを伝え、「できない」に○をつけることに抵抗感がないようにする。 ・なぜ、そこに○をつけたか、今後、どうしていきたいか等を話題として意見交換できるようにする。 ・キーワードを板書しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A3判に拡大したもの ⇒ P.45
<p>・知識としては「大事なこと」だとわかっている、実際に行動に移すことが難しい場合もある。</p> <p>・立場や世代によっても考え方や行動に違いがある場合もある。</p> <p>・物事を進めていく上で、「現在、あるいは実際はどうか」という実態を知らないと、いくら目標を立ててもうまく進まない。それぞれの立場の人の考えを聞き、実態を知ることがとても大切である。</p>			
	<p>◆ふりかえり（10分）</p> <p>①今日の学習で気づいたことをふりかえりシートに記入する。</p> <p>②グループで意見交換をする。</p> <p>③グループで出た意見を全体に発表し、共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で特に話し合った部分にふれるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・共通ふりかえりシート ⇒ P.13
まとめ 5分	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらい（ポイント）をおさえる。 	

学習を深めるために

- アクティビティで使用するワークシートの内容は、主として1・2が家庭、3・4・5が職場、6・7・8が学校、9・10が地域、11・12が文化・伝統分野の内容である。ねらいや対象によって、内容をかえるとよい。

そう^{おも}思う

ややそう^{おも}思う

あまりそう
^{おも}思わない

そう^{おも}思わない

アクティビティ「わたしはできる？」

あなたはできますか？ できませんか？ あてはまる欄に○を書きましょう。

		できる	できない
1	「主人・奥さん・旦那さん」ということは使わない。		
2	「女だから」「男だから」「女のくせに」「男のくせに」という考えはもたないし、その言葉は使わない。		
3	職場では、どんな時も男女ではなく能力・適性で仕事の役割を決める。		
4	男性でも女性でも制度の中で育児休暇をとることを心から歓迎する。		
5	職場に男性が化粧をしてくるのを認める。		
6	ランドセルは、子どもが好きな色を購入する。 (例：女子が青でも、男子がピンクでもよい。)		
7	PTAの学級の委員は男女の別なく選ぶ。		
8	「中学校の制服を男女同じ（または選択）でよいか。」という論議があったら賛成する。 (例：女子がスラックス、男子がスカートでもよい。)		
9	地区の会議や祭りの準備などは、男女で役割を分けない。		
10	地域の役員（自治会・民生委員等）は男女の別なく選ぶ。		
11	「ひなまつり・端午の節句は男女の別なく祝う日にする。」という論議があったら賛成する。		
12	「すもうの土俵に女性知事等があがってもよいか。」という論議があったら「あがってもよい」に賛成する。		